

小学校 第4学年 体育科 「とび箱運動」

育成を目指す資質・能力について

体育科において、タブレット端末の基本機能であるカメラ機能を活用した授業実践例を紹介します。情報収集や記録の一つの手段として、写真や動画の撮影をさせ、後で見直すメモとして使ったり、観察記録を作成する際のスケッチのかわりに使ったりすることで、他教科等でも活用できる汎用性が高い事例です。なお、撮影の際には、無断で他人を撮影したり、著作権の侵害にあたるような撮影をしたりしないよう、くり返し指導をしていくことも重要です。

自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。【思考・判断・表現】

事例の概要

流れ	児童	教師
①	・体ほぐしの運動をする。 ・サーキットをする。 ゆりかご うさぎとび カエルの足うち 前転 跳び上がり 回転降り 腕立て飛び越し	
②	学習のめあてをつかむ。	テレビにタブレット端末を接続し、比較できるよう、2つの動画を並べて再生し、技のポイントをつかませる。
③	試しの運動をする。	
④	どうすれば、きれいな台上前転になるか考えたことを交流する。	再び、お手本となる台上前転の動画を視聴させる際に、見るポイントをはっきりさせる。
⑤	グループで練習し、課題を見つける。	
⑥	タブレットで撮った自分の動きをスロー再生などを活用し、グループで確認することで改善点をつかませる。	
⑦	本時のまとめをする。	
⑧	振り返りをする。	



【事例におけるICT活用のポイント】

- ①画面を2分割し、動画で良い例、悪い例を比較して提示する。
- ②グループごとにスムーズに撮影できるよう、撮影場所や手順を示しておく。
- ③撮った動画を見るときは、児童が指の操作によって、ゆっくり見たり、巻き戻して見たりできるように指導しておく。
- ④即時に良い点を評価する時間と動画でじっくり確認する時間とのバランスを大切にする。

【活用したソフトや機能】 カメラアプリ